

ボイラー溶接士免許更新証明書

免許種別	特別・普通
免許証番号	第 _____ 号
免許証有効期間	～ 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日まで
氏名	

1 上記の者が、下記のとおり、免許の有効期限の満了前1年間にボイラー又第一種圧力容器の溶接作業に従事し、かつ、免許の有効期間中に溶接したボイラー又は第一種圧力容器のすべてが溶接検査又は変更検査等に合格していることを証明します。

種類	最高使用圧力	伝熱面積 内容積	検査年月日	溶接、変更検査 の区分	溶接箇所	検査番号

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

申請者所属事業場
事業者 職・氏名

2 上記の者は、上記1の実績がありませんので、「ボイラー及び圧力容器安全規則」第107条により、「ボイラー技士、ボイラー溶接士及びボイラー整備士免許試験規程」に定める実技試験に準じて、曲げ試験を行ったことを証明します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

申請者所属事業場
事業者 職・氏名

免許試験	品名	材質 <small>鋼板の種類を記載</small>	試験片 寸法	刻印 番号	試験要領		所見			合否
					角度	内側半径	クラック	フロホール	その他	
特別	側曲試験 (下向・ 横向)		250 mm × 9 mm × 25 mm		180度	20mm				
普通	裏曲試験 (下向)		250 mm × 38 mm × 9 mm		180度	20mm				

特別ボイラー溶接士のときは溶接の向きをチェックする。使用した試験片鋼板の材質を記載する。

上記の所見について、事実と相違ないことを証明する。(刻印の打刻日 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日)

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

_____ 労働基準監督署

官職・氏名

免許証の有効期限満了までに労働局に申請すること。
申請の受付日から2か月以内に刻印を打刻したものであること。

試験片の作成要領

(鋼板の種類)

次のいずれか。

- 1 JIS G3103 - 1966(ボイラ用圧延鋼材)に定める鋼板二種の規格に適合するもの
SB410、SB450、SB480、SB450M、SB480M
- 2 JIS G3106 - 1970(溶接構造用圧延鋼材)に定める一種の規格に適合するもの
SM400A、SM400B、SM400C、SM490A、SM490B、SM490C、SM520B、SM570
- 3 JIS G3101 - 1970(一般構造用圧延鋼材)に定める鋼板二種の規格に適合するもの
SS400

(試験板の厚さ)

特別ボイラー溶接士 25 mm

普通ボイラー溶接士 9 mm

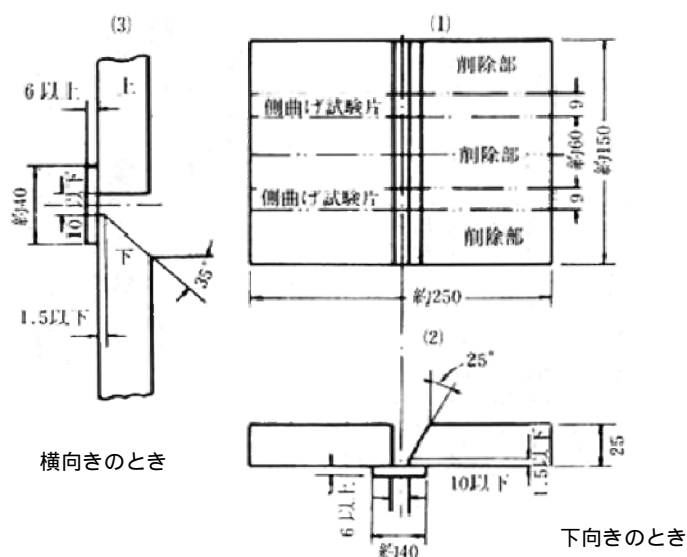
(溶接棒)

種類 JIS 日本工業規格 Z3211 - 1970(軟鋼用被覆アーク溶接棒)に適合する溶接棒

直径 3.2 mm以上 6 mm以下

(試験板の形状及び寸法)

特別ボイラー溶接士



普通ボイラー溶接士(2本とも裏曲げ試験(裏面が外側になるよう曲げる)とする)

